

Microsoft Al

日本マイクロソフト株式会社 IoTデバイス本部

IoT テクニカル スペシャリスト 平井 健裕 / Takehiro Hirai



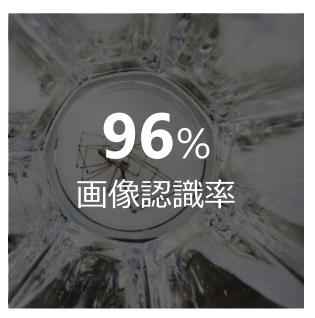


このセッションの目的とゴール

- AIへの取り組みのご紹介
- ・ AI 関連サービスのご紹介
- Custom Vision と Power Apps を用いたデモ

Microsoft AI 関連サービスを身近に感じていただく

Microsoft AI の成果 - 人間と同等以上の精度 -









2016年

2017年

2018年1月

2018年3月

特に成果が出始めている シナリオ

製品推奨



ショッピングカートのサイズが減少



デジタルサービスの一環として、 パーソナライズの機能を追加



ショッピングカートのサイズが増加



ASOS は、毎秒33の注文を処理し、 1540万のパーソナライズされたサービスを提供

予知保全



予期しないダウンタイムによるコスト超過



メンテナンスを実行する時期を予測する



ダウンタイムの最小化



需要予測



太陽エネルギー生産量が不安定



エネルギー供給を市場に最適化



収益の最大化





LAWSON

「会話」できる AI が人間の創造力を拡大人の感情に寄り添う「EQ 型 AI」"テレフォンハッキング"



Challenge

従来の AI は人の仕事を 助ける "IQ 型" が主流 感情を理解する "EQ型" でもコミュニケーション は「テキスト」 ベース

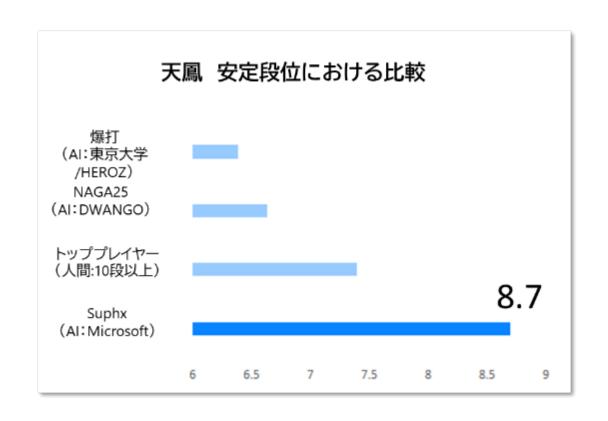
Solution

音声と映像を500ミリ秒で返すことで、 スムーズに会話を実現 ランダムに「電話をかけて 人の代わりに会話を膨らませることが でき、人間の創造力を拡大

Benefits

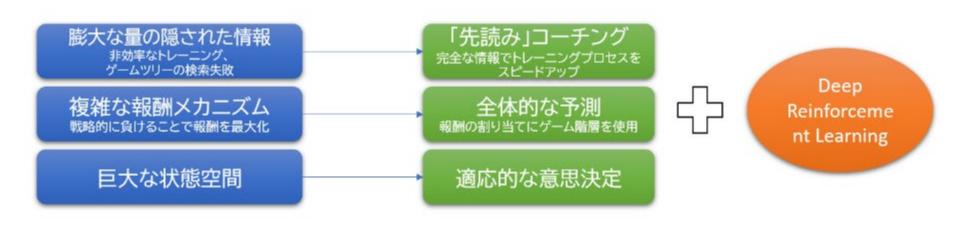
- 顧客サービスのフロントエ ンドコミュニケーションが より自然な対話ベースに
- 次々と会話をつなげるやり とりで顧客ニーズの掘り起 こしも可能に





麻雀 Al Microsoft Suphx が 人間のトッププレイヤーに 匹敵する成績を達成

AI として初めて麻雀 10 段を獲得、 技術革新とブレイクスルーを達成





Microsoft AI の "原則"

より高い生産性

使い慣れた開発言語、あらゆるスキルのデベロッパー、 データサイエンティストが、同じプロジェクトで開発可能

企業が利用できる

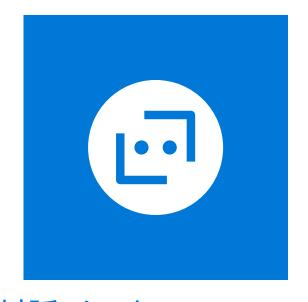
既存のシステムやプロセスとの連携がしやすい

安心して使える

データを、自分が所有し、コントロールできる

Microsoft AI 関連サービス

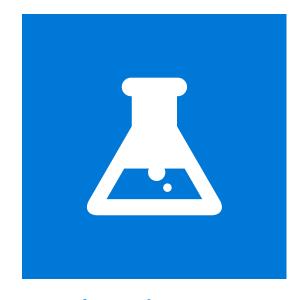
 会話 AI ボットエージェント、学習済み AI から 機械学習の統合開発基盤 (GPU インスタンスなど) まで幅広く用意



対話インターフェース Azure Bot Service



学習済み AI Cognitive Services



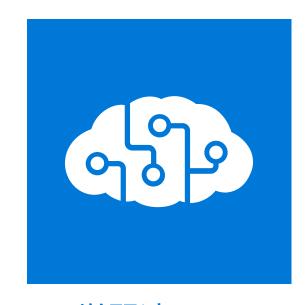
カスタム AI Azure Machine Learning

Microsoft AI 関連サービス

 会話 AI ボットエージェント、学習済み AI から 機械学習の統合開発基盤 (GPU インスタンスなど) まで幅広く用意



対話インターフェース Azure Bot Service



学習済み AI Cognitive Services



カスタム AI Azure Machine Learning

学習済み AI - Cognitive Services

画像

言語

音声

決定



Aぁ





検索



コンピュータ画像 顔 感情 コンテンツ モデレータ

Video Indexer Cognitive Services Labs テキスト分析 スペルチェック Web言語モデル 言語分析 翻訳 発言者認識 音声

ウェブ検索 イメージ検索 ビデオ検索 ニュース検索 自動サジェスチョン コンテンツ モデレータ 異常検知 パーソナライズ

カスタム画像認識

カスタム **言語認識** カスタム 音声サービス カスタム 検索

カスタム デシジョンサービス

Face

顔を検出して年齢・性別を推定

Detection

```
"faceRectangle": {"width": 193, "height": 193, "left": 326, "top": 204}
```

•••

Feature attributes

```
"attributes": { "age": 42, "gender": "male", 
"headPose": { "roll": "8.2", "yaw": "-37.8", 
"pitch": "0.0" }}
```



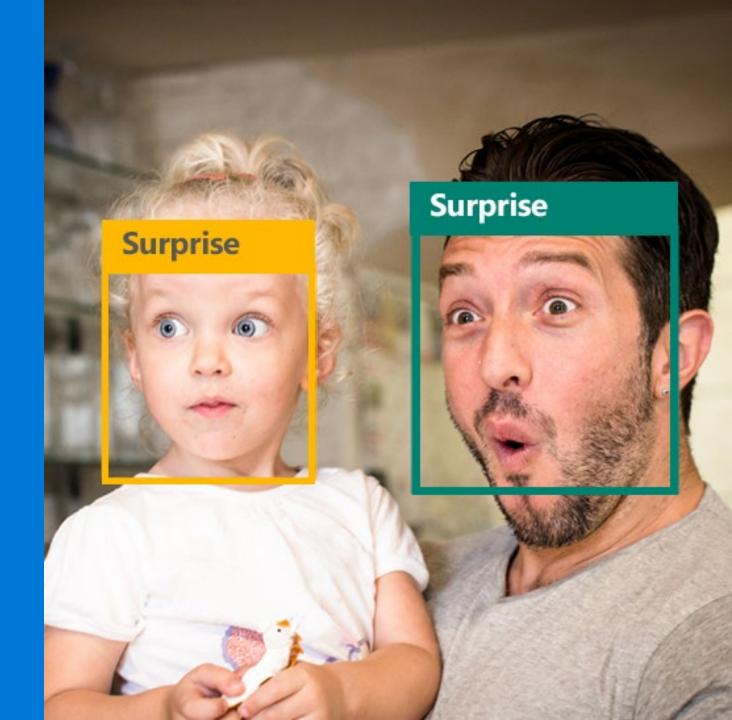
Face

顔から感情を検出する

Face detection

```
"faceRectangle": {"width": 193, "height": 193, "left": 326, "top": 204} ...
```

Emotion scores

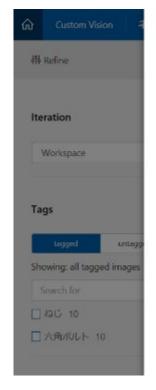


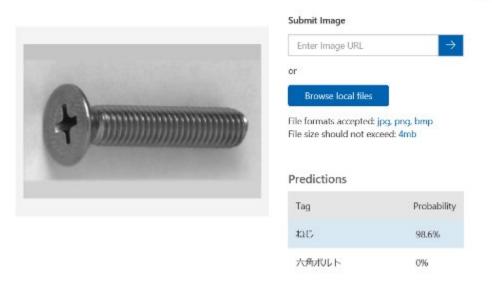
Custom Vison Service

カスタム画像認識

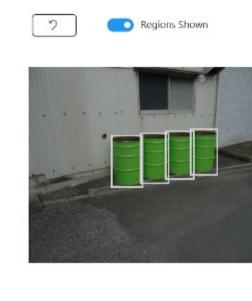
画像をアップロードして タグ付けして、トレーニングして、 画像認識エンジンを構築

- イメージ分類
- オブジェクト検出







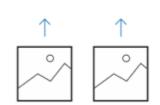








Custom Vision - 実際のステップ



Upload Images / 画像データのアップロード

学習させたいモノを含む画像データをアップロードし、 ラベル、またはタグ付けします



Train / 学習

Custom Vision が与えられたデータと ラベル、またはタグを用いて学習、モデルを作成します

91%

Evaluate / 評価 (実行)



89%



93%

作成されたモデルを REST API でコール、 または Export してローカル(エッジ)環境で実行します

Demo: Custom Vision から Power Apps まで

- Custom Vision サービスで犬種識別モデルの作成
- Power Apps を用いてマルチプラットフォームで 上記モデルを使用するアプリの作成

を"プログラミング無し"にて

まとめ:目的に合わせた選択肢

